

会議録

会議の名称	令和6年度第1回朝霞市社会教育委員会会議
開催日時	令和6年7月3日（水）午後2時から午後3時10分まで
開催場所	朝霞市民会館・ゆめばれす301会議室
出席者及び欠席者の職・氏名	○出席委員12人（田邊委員、太田委員、原委員、藤井委員、蕪木委員、金子委員、蔵田委員、渡邊委員、齋藤委員、小島委員、野本委員、高野委員） ○欠席委員3人（菅原委員、古川委員、木村委員） ○説明のため出席した部課長及び事務局等8人（奥山生涯学習部長、小笠原生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長、堀川生涯学習部参事兼中央公民館長、藤原文化財課長、増田図書館長、高橋課長補佐、五味主任、斉藤主任）
議題	(1) 令和5年度生涯学習・社会教育関係事業報告について (2) 令和6年度生涯学習・社会教育関係事業計画及び予算について (3) 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和5（2023）年度事業評価（案）について (4) その他
会議資料	資料1 令和5年度（2023年度）生涯学習部 事業報告書 資料2 令和6年度（2024年度）生涯学習部 事業計画書 資料3 令和6年度 生涯学習・社会教育関係事業予算 3-1 令和6年度 教育委員会予算概要（歳出） 3-2 社会教育関係団体 令和6年度補助金交付予定一覧 資料4 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和5（2023）年度事業評価（案） 資料5 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和5（2023）年度事業評価 総括（案） 補足資料5 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和5（2023）年度事業評価バックデータ 資料6 社会教育法等の抜粋資料 資料7 朝霞市社会教育委員名簿
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）

	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後  か月
	会議録の確認方法 議長による確認	
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○開 会

司会：事務局 斉藤主任  
開会のあいさつ：奥山部長  
欠席確認、委員・事務局の紹介  
会議の公開・傍聴人について

○議 事 （１）令和５年度生涯学習・社会教育関係事業報告について  
（金子議長）

それでは、議事の（１）令和５年度生涯学習・社会教育関係事業報告について、事務局から説明をお願いします。

（事務局 高橋補佐）

議事の（１）令和５年度生涯学習・社会教育関係事業報告につきましては、事前に配付させていただいた資料１を御覧ください。

事業報告の説明は、生涯学習・スポーツ課長→文化財課長→中央公民館長→図書館長の順で行います。

（生涯学習・スポーツ課 小笠原次長）

初めに、生涯学習課から事業報告１ページから６ページのうち、主な事業、講座を御説明します。

１ページ、生涯学習啓発推進事業は、「子ども大学あさか」を７月から１１月に５回実施し、小学４年生から６年生を対象に２２人の御参加をいただきました。

２ページ、芸術文化振興事業のうち、「市民芸能まつり」を７月に開催し、  
２，０８５人、３ページ、「朝霞市文化祭」を開催し、８，７６６人の御来場をいただきました。

人権教育振興事業は、「市民人権教育研修会」を「インターネット上の人権侵害」をテーマとして、５８人に御参加いただきました。また、「人権問題講演会」では、「H I Vと人権について」をテーマをとして、８４人の方に御参加いただきました。

同ページ、成人の日記念式典事業は、「成人の日記念式典」を、１月８日「ゆめぱれす」において、午前１０時３０分、午後２時から開始の２部制で実施させていただき、８９６人に御参加いただきました。

４ページ、放課後子ども教室事業は、夏休み期間の午前中に小学校６校で５回ずつ計３０回開催し、１０９人の小学生に御参加いただきました。

続いて５ページからは、スポーツ関係になります。

「市民スポーツ教室」は、「ボッチャ教室」を８月に実施し、２５人の方に御参加いただきました。「市民体育祭」は、前年度は時間を午後１時までと短縮していましたが、５年度はコロナ禍前の規模に戻し午後３時まで開催し、５，０００人の御参加をいただきました。

６ページ、陸上競技場、総合体育館の個人開放を行い、陸上競技場は、６，３２３人、総合体育館は、５，３８４人の御利用をいただきました。

「溝沼子どもプール」は、午前午後の２部制で実施し、３９，９３２人の方に御利用いただきました。

「オリンピック・パラリンピックレガシー事業」は、１月２７日に陸上競技場で、「誰でもOK！記録を破れ！」と題してオリンピックの土井杏南選手をお招きして実施し、１１６人に御参加をいただきました。

以上です。

(文化財課 藤原課長)

続きまして、文化財課の報告をいたします。資料の7ページから14ページです。

7ページの埋蔵文化財調査保存事業につきましては、本市では依然、開発行為に伴う試掘・発掘調査の波が収まらず、試掘調査が99件ございました。試掘調査に伴い遺構を確認し、現状保存が難しいものにつきましては発掘調査を行います。昨年度は発掘調査は6件ございました。

なお、発掘調査の記録につきましては整理し報告書を作成いたしますが、令和5年度は2冊の報告書を刊行いたしました。

8、9ページの旧高橋家住宅管理運営事業につきましては、「体験学習」、「旧高橋家住宅ガイドツアー」、「旧高橋家住宅どきどきツアー」などの事業を可能な限りコロナ禍前の状況に戻し、実施いたしました。

10ページから14ページの博物館の各事業につきましても、講座・講演会など、定員を可能な限りコロナ禍前の状況に戻し、実施いたしました。

なお、博物館の令和5年度入館・利用者数は25,118人、14ページの博学連携事業のうち、「小学校3年生博物館利用授業」の参加者は948名でございます。

以上です。

(中央公民館 堀川館長)

公民館について御説明します。

資料の15ページを御覧ください。こちらから28ページまでは全6館の公民館の事業についてですが、主なものについて御説明します。

まず、中央公民館ですが、事業としては8事業を行っております。

一番上、「悠ゆう大学」として、「能」を取り上げ、全4回の実技体験などを行い63人の方に御参加いただきました。

次のページ、「人権教育講座」を、公民館6館の合同講座として、視覚障害がありながら本市のコミュニティラジオのパーソナリティやバイオリン奏者としてなど、幅広く活躍されている白井嵩陽さんによるトーク&ライブをコミュニティセンターホールで実施し、120人の方にお越しいただきました。

また、本市の特徴の一つであるプラネタリウムの投映を行い、一般投映、特別投映、団体投映合わせて5,127人の方にお越しいただきました。

一番下の、「サマーフェスティバル」では、日頃から公民館を利用されている皆さんにより、展示や体験、コンサートなどを行い3,900人の方にお越しいただいております。

17ページからは地区館でございますが、それぞれの館の特徴ある事業について御報告します。

東朝霞公民館は7事業を実施しており、17ページ一番下の行ですが、「育児パパ・ママ応援講座」を行い、37人の方に御参加いただいております。

19ページ、西朝霞公民館は9事業を実施しており、20ページ一番上の行、「レッツ・チャレンジ」として小学生と保護者を対象とした工作などを実施し55人の方に御参加いただいております。

22ページ、南朝霞公民館は7事業を実施しており、22ページで、「南っこクラブ」として小学生の夏休みの自由研究を実施し、56人の方に御参加いただいております。

25ページ、北朝霞公民館は7事業を実施しており、26ページ一番上の行で、「さわやか健康教室」として、健康づくりをテーマとした体操などを実施し、30人の方に御参加いただいております。

最後に、27ページ、内間木公民館は6事業を実施しており、27ページ一番上の行で、「生活教養講座」として7回にわたる教室を、乳幼児と保護者、成人を対象とし実施し、

116人の方に御参加いただいております。

その他、各館とも生活教養講座や映画会、そして公民館まつりなど、全年齢がそれぞれ御参加いただける事業を展開しております。

(図書館 増田館長)

続きまして、図書館の主な事業について御説明いたします。29ページから32ページになります。

29ページを御覧ください。「青少年対象講座」ですが、こちらは青少年世代の利用促進を図ることを目的に、12月に講師を招き、アニメーションのキャラクターを描く技術向上等の講座を開催し、37人の参加がございました。

「児童文化講座」は、読書の果たす役割や本と出会うことの大切さなどを伝え、こどもたちへの読書活動を推進することを目的とし、11月に講師を招き、1部で読み聞かせや手遊びの講義を実施し、28人の参加をいただきました。2部では講義を受けられた方のうち、17人におはなし会の実演をしていただき、おはなし会には8組33人の方に御参加いただきました。

「ブック・スタート」ですが、こちらは保健センターで実施している4か月健診時に、図書館職員とボランティアが出向き、健診を終えた親子一組一組に絵本をプレゼントするとともに、絵本の読み聞かせや図書館利用のPRなどを行っており、全24回の実施で1,115組の親子が参加しております。

「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」、30ページの「うさみみタイム」のほか、「子ども読書の日」や「夏休み」及び「クリスマス」のおはなし会は、「絵本や紙芝居の読み聞かせ」、「手遊び」などを通して、本や図書館に興味を持ってもらうことを目的に、乳児から小学生を対象に実施しております。

一般向けの「シネマ・ライブイラリー」と子ども向けの「子ども読書の日おたのしみ映画会」、31ページの「夏休みこども映画会」は、図書館が保有する映画を上映し、図書館のPRと利用促進を図るもので、延べ220人に御参加いただいております。

6月に開催の「図書館まつり」及び5月に開催の「らいぶらりコンサート」は、図書館利用者を中心とする実行委員会が中心となり、「展示」や「発表」、「講演会」などを開催し、利用者相互の親睦と図書館のPRを目的とするものです。参加者は「図書館まつり」が延べ1,970人、「らいぶらりコンサート」が延べ50人でした。

12月から1月にかけて実施した「本の福袋」は、キーワードのみを示した状態で本を借りていただき、本への興味や読書の幅を広げ、図書館の利用促進を図るもので、利用者からは好評を得ており、316袋、374冊の貸出実績がございました。

次に32ページ、北朝霞分館事業で8月に実施した「えんじょい・きっず」ですが、こちらは小学生を対象に、図書館にある業務端末などを実際に操作し、一連の図書館業務を体験していただき本に興味を持ってもらうもので、小学3年生から6年生まで延べ22人の参加がございました。

「絵本のよみきかせ」は、年12回の実施で、延べ151人の参加がございました。

図書館の主な事業報告は、以上でございます。

(金子議長)

各課、各館の説明が終わりましたが、何か御質問はありませんか。

(藤井委員)

こうやって、去年もそうでしたが、たくさんの事業をやっていらっしゃるなど感心しておりますけれども。私は文化協会ですが、「芸能まつり」とか「朝霞市文化展」や「文化祭」。来場者が、コロナが収まったとはいえ非常に少ないなど。朝霞地区四市芸能・芸術文化祭も朝霞市でやったのですが、関係者以外のお客さんが少ないなど感じました。もう少しコロナが収束したあと、今後市民体育祭もあると思いますが、どんどん復活し

を増やすようなPRをする必要があるのではないかと感じています。以上です。

(金子議長)

4ページの放課後子ども教室事業について、一小から十小まであるのですが、二小、六小、八小、九小が事業を行っていないように思われますが、これは何か理由がありますか。

(事務局 高橋補佐)

できれば全校での実施をお願いしたいところですが、現在、実施していない学校は空き教室がなく、御協力をお願いしたいという希望はありますが、実施できておりません。

(金子議長)

分かりました。

二小、六小、八小、九小の場合は教室に余りがないのですね。余裕がない。非常に児童が増えているということで実施されていないということですが、そのうち何か良い方向で実施できればと思いますけれども。よろしく願いいたします。

ほかに、いかがでしょうか。

なければ次へ進めます。

#### ○議 事 (2) 令和6年度生涯学習・社会教育関係事業計画及び予算について

(金子議長)

続きまして、議事(2)、令和6年度生涯学習・社会教育関係事業計画及び予算について、事務局から説明をお願いします。

(事務局 高橋補佐)

議事の(2)、令和6年度生涯学習・社会教育関係事業計画につきましては、事前に配付させていただいた資料2を御覧ください。

事業計画の説明は、先ほどと同様に、生涯学習・スポーツ課→文化財課→中央公民館→図書館の順とさせていただきます。

その後、資料3の令和6年度生涯学習・社会教育関係事業予算について、事務局から説明させていただきます。よろしく願いいたします。

(生涯学習・スポーツ課 小笠原次長)

初めに、生涯学習・スポーツ課の事業計画でございます。資料の1ページから6ページです。主な事業・講座を御説明します。

1ページ、生涯学習啓発推進事業は、「子ども大学あさか」を7月から12月に全5回実施予定です。

5月に発行した「生涯学習ガイドブックコンパス」は皆様のお手元でございますので、後ほど御覧ください。

芸術文化振興事業は、本年も「夏休み親子陶芸教室」を丸沼芸術の森さんに御協力いただけるということで7月と8月に実施します。大変人気が高いため抽選となっております。

2ページ、「朝霞市芸術文化展」は、6月1日、2日、9日に実施させていただきました。

「市民芸能まつり」は、今週末7月7日に「ゆめばれす」で実施いたします。

「朝霞市文化祭」は展示部門を、10月26日、27日に中央公民館・コミュニティセンターで予定しており、また、個別発表・大会部門は、それぞれ10月から12月の期間で予定しております。

人権教育振興事業は、「市民人権教育研修会」を6月21日に「それって無意識の偏見かも？プリンセス像や血液型占いから見るステレオタイプ」という内容で、研修会を開

催しました。

3ページの「成人の日記念式典」は、令和7年1月13日に予定しております。

家庭教育推進事業は、「子育て講座」等を予定しております。

4ページ放課後子ども教室事業です。夏季休暇期間中は5日間ずつ、計30日行うこととしました。A日程は7月29日から8月2日。一小、三小、五小、七小、十小でございます。B日程は、8月19日から8月23日まで。四小で開催します。

5ページ目からスポーツ関係です。

「ウォークラリー大会」は、4月14日に実施することとしました。

「市民スポーツ教室」は「ボッチャ教室」を2月に予定しています。

「市民体育祭」の名称を変更し「市民スポーツ大会」として、10月13日に開催する予定です。また、同日に市民スポーツ賞表彰式も行うこととしています。

「ロードレース大会」は11月23日に予定しています。

6ページ、「溝沼子どもプール」は、7月13日から9月1日まで開業し、熱中症対策として、本年度も2部制を継続していきます。

オリンピック・パラリンピックレガシー事業は、本年度も「誰でもOK！記録を破れ！」を予定しております。

以上です。

(文化財課 藤原課長)

文化財課の令和6年度の事業計画につきまして御報告します。

7ページから11ページです。

まず、8ページ「旧高橋家住宅管理運営事業」です。「体験学習」につきましては、今回5回の日程で事業を計画しています。先日、2番目の6月のじゃがいも掘りが終了しました。人数が多くなっていて希望者も多い中でこちらの5件の体験学習を実施する予定です。

10ページの博物館、「第38回企画展」につきましては、「朝霞の古墳時代」と称し、市内の古墳時代をテーマとした展示を予定しています。

ギャラリー展示では、文化財保護係の企画として、「あさか発掘調査速報展」を7月13日から9月1日までの日程で、博物館ギャラリーで行う予定です。令和5年度に発掘調査を行った6件の場所や調査状況の写真、出土した遺物などを展示しますので、是非御覧いただければと思います。

以上です。

(中央公民館 堀川館長)

公民館は資料の12ページから19ページです。

まず12ページを御覧ください。主な事業について御説明します。

中央公民館ですが、事業としては8事業を予定しており、「サイエンスキッズ」として、夏休みに小学生を対象とした理科教室を実施します。

「人権教育講座」として、今年度は中央公民館主体の講座と地区館5館が共同で行う講座、合計2回の講座を行う予定です。

プラネタリウムの投映は、一般投映、特別投映、団体投映をそれぞれ行っています。

また、サマーフェスティバルを8月の24日、25日で行う予定です。

次に13ページから19ページまでが地区館でございますが、東朝霞公民館7事業、西朝霞公民館は9事業、南朝霞公民館は7事業、北朝霞公民館は7事業、内間木公民館は6事業をそれぞれ予定しており、各館とも生活教養講座や映画会、健康講座、そして公民館まつりなど、全年齢がそれぞれ御参加いただける事業を予定しています。

以上です。

(図書館 増田館長)

続きまして、図書館の御説明をいたします。20ページから23ページです。

図書館の事業は5年度から6年度にかけて新たに追加する事業、廃止する事業はありません。基本的には事業としては同じで、テーマ等についてはこれから検討していく形になります。

今現在は夏休みのお子様向けの事業とその企画、募集等を実施しております。

21ページ、「らいぶらりコンサート」は5月26日に実施しております。今年度は6団体に演奏していただき、入場者等の制限はしない形で今年度は延べ136人来場いただきました。昨年50人から倍増している状況です。

「図書館まつり」は先週6月29日、30日の二日間にわたり実施しました。人数については集計中ですが、昨年は1,970人の参加者でしたが、今年度は2,000人を超えて昨年度を上回る見込みです。

以上です。

(事務局 高橋補佐)

資料3「令和6年度生涯学習・社会教育関係事業予算」のうち、生涯学習部関連の予算について御説明します。

1ページ目、資料3-1、「令和6年度教育委員会予算概要(歳出)」を御覧ください。

表の中ほど、左側の項で、05、社会教育費は、前年度対比118.8パーセントで、前年と比較し1億9,398万円の増額になっています。

主な増額の要因は、目の04、博物館費が前年度の549パーセント、2億1,365万4千円の増額で、空調、外壁改修により、設計委託料、工事監督委託料、工事請負費などを計上したものです。

次に、その下、項の06、社会体育費については、前年度対比253.9パーセントの3億7,319万4千円の増額で、03、武道館費が、前年度対比1397.9パーセントの3億3754万2千円で、武道館の改修に伴う、設計委託料、工事監督委託料、工事請負費などを計上したものです。

次のページ、資料3-2を御覧ください。

社会教育団体への令和6年度における補助金交付予定一覧を付させていただきました。令和6年度の予算額と令和5年度の予算額、それぞれの比較を記載させていただいております。

比較しますと、増減のあった箇所が2か所です。

一覧中ほど上から10行目、「家庭教育学級(事業及び開設費補助)」は、活動団体や参加するPTAが増えない状況が続いているため、108千円の減額、その三つ下、「市民総合スポーツ大会実行委員会」の補助金ですが、市民体育祭を再開したため、補助金の繰越金に不足が生じたことから、952万円を増額計上したものです。

以上です。

(議長)

ただいま報告がありましたが、いかがですか。事業計画及び予算について。

(蕪木委員)

資料3-2の「令和6年度補助金交付予定一覧」の中の生涯学習・スポーツ課の下から3番目に「体育協会」とありますが、「スポーツ協会」に直していただきたいと思います。

(事務局 高橋補佐)

申し訳ございません。修正いたします。

(金子議長)



ほかに何かありませんか。

前もって資料をお送りしていただきましたので、大体、委員の皆様も以前から理解されている方も多いかと思いますが。

(蔵田委員)

こちらに書いてあることではないのですが、「図書館まつり」の際に例年リサイクル本を配付という形をしていて、開館前から並ぶくらい市民の皆さんが楽しみにしてくださっていたのですが、今年はここで実施しない形だったので、スペースの関係とかあると思いますが、できれば市民の皆さんが集まるときにPRを兼ねてリサイクル本を出せるといいのではと思いましたし、今年はないのですねというお問合せがありました。周りの市から考えると朝霞は本当にきれいな状態のものがリサイクルに出されているので、本が離れていきがちなので、求めてきてくださる方にお渡しできるといいなと思いました。質問というか、お願いします。よろしく申し上げます。

(金子議長)

本当に、図書館へ行きますと大勢利用者がいてびっくりします。それから高橋家住宅、私も寄ってみました。普段でも結構人が見に来て、中がきれいに整備されていますね。ありがとうございます。

(齋藤委員)

一つ質問をよろしいですか。

社会教育団体の中の「家庭教育学級」の予算が前年度よりかなり少なくなっているということで先ほど説明がありましたが、開設する、活動する学校等が少なくなってきたという実態なのでしょうか。

(事務局 高橋補佐)

委員のおっしゃるとおりで、開設いただけるPTA等が少なくなっているという現状もありますし、コロナ禍で活動を控えたせいで活動をやめてしまった団体もあると指導員から聴いております。

(齋藤委員)

PTAの活動そのものが学校教育の中での関わりとか意義というものが、いろいろ模索されている時代になってきているのではないかなと思うのですが、それとの関係も非常に多くなってきているのだと思いますが。ここに先生方がおられるので、小学校でも中学校でも結構なのですが、PTAの関係の中で今どんな状態なのかなということをお教えいただければと思います。

(金子議長)

家庭教育学級についてですが。太田委員いかがでしょうか。

(太田委員)

朝霞第四中学校でございます。本校ですけれども、この4月に着任してびっくりしたのは、本校は「父母と先生の会」というのがあるのですが、非常に盛んです。びっくりしました。今まで市内幾つかの学校にいたのですが、組織がしっかりしていて、「父母と先生の会」とは言いますが、教員の方は動かなくても保護者が。組織がしっかりしていて。どうしても本校の場合は八小、四中とつながりがあるので、八小のときに一緒にやっていた人たちがメインになって、「どう、いいでしょう。」というところ。それから家庭

教育学級も実は今週土曜日に予定されていて、「校長先生来ますよね。」「もちろん行きませす。」「あいさつをお願いします。」というところで、コロナ禍を経てもやっている学校ですが、恐らく今市内に15校ある中でいうと数少ない、ガッツリ保護者が動いている学校なのかなというふうには四中は感じています。

(金子議長)

やはり保護者が動いてくれないと先生方が旗を振るだけではできませんから。

それでは、田邊委員いかがですか。

(田邊委員)

六小はPTAの加入率は100パーセントなのですが、やはり共働きの家庭が増えて、活動を縮小せざるを得ない状況があって、今精査をしています。ただ、この事業とは関係ないのですが、校内行事などに保護者の方や地域の方が一緒に活動してくれる機会は増えまして、PTAという元々決まった動きではないのですが、校内行事に合わせた関わりが非常に増えているという実態です。

(齋藤委員)

今、大変難しい時代になっていて、学校と家庭、PTA、組織。いろいろな名前が増えてきていると思うのですが、必ずしも今までのものが全て良いとは思わないけれども、やはり時代に即した関わりがないと学校はうまく回っていかないと思うので、やはりこういった家庭教育学級等を含めて、何か学校と一体になっていけるような状況があればより良いのではないかなというふうに思っています。ちょっと今、ともすると離れていっているような部分も学校によってはあるのかなと思います。ちょっと寂しい部分もありますが、いい策があったらまた考えていただければと思います。

(蔵田委員)

保護者が、コロナ禍でやらなかったりすると、次の代に「そんなことするよ」というのが引き継がれていかない数年があったじゃないですか。多分そこでメンバーが変わっちゃいますよね、保護者はね。卒業していくと。それでやはり、「どういうふうにやればいいんだっけ。」みたいなものもあるのかなという気がします。保護者からお話を聴いているとあるので、「そんなことができるんだ。」とか、「補助金もあるんだ。」という話をして、「え、そうなの。」ということもあったりするので。その辺はやはり、周知していくともっと良いかなという気もしますね。

(渡邊委員)

非常に恥ずかしいというのか、自分たち関わってきてつらいところなのですが、「子ども会連合会」は昭和45年にできて、今年度で多分閉店の予定です。それはやはり、親御さんたちのネットワークの作り方が時代とともに形が変わってきているというのも如実で、なかなか広がっていかない。やはり少子化というのも絡むし、地域で昭和の付き合い方というのは、なかなか今できない時代になってきているので、それを新しいバージョンに変えるという術が私たち団体からはアイデアが出なくなってきてしまって、参加子ども会の数が来年度は期待できない状態になってくるので、組織自体が成り立たないという状態になって。ただ、イベントをやればお子さんたちは来ます。ただ組織ができないから、「このゆびとまれ」の指を出す人が、今社会的になかなかできないし、その指に止まっても、ネットワークがすごくタイト。そんなに広がっていかない。共通理解が昭和みたいに広がっていかない状態のところがあるのかなと、すごく如実に感じていますよね。事業をやれば集まって来るといえるのは分かるのですが、それだけの体力がそのまま、いろいろ中学生、高校生いろいろな組織を作っていたのですが、なかなかそういう

ところも社会的なニーズは感じているのだけれども、ただそれに関わる本人たちが手を挙げてくれないと、実働部隊がなくなってしまうと現実には難しくなるというのが、PTAも似たようなところがあるのかなと思って。時間の部分もまた難しいでしょうし、先生方の働き方改革よりも多分親御さんたちの働き方改革がない。日本の場合は労働生産率が悪いのかどうか、すごく疑問に思ったところがあるので。昔行ったフィンランドなんか、5時ぐらいになると夫婦で皆出掛けて、公園で、親子で遊んでいるような感じのところがあるのだけれど、日本ではそんなことないし。昭和ではお父さんが一緒にご飯を食べているような状態があったかもしれないけれども、それ以降はなかなか、今そういう時代になってきている中で違うチャンネルのやり方を考えていけないといけない時代になっているのかなとは思いますがけれども。

そういう意味で、学校のあり方と生涯学習・スポーツ課も大変難しくなっているのではないかと。単純にこどもの数が少ないとか予算が減ってきたとか決行者がいなくなったというだけでは済まされないような時代ではないかなと。むしろ、今渡邊委員がおっしゃったように、大事にしなければいけない部分なんだろうけど、その策がなかなか難しくなっているのが実態なのかなと思います。

(金子議長)

子ども会は昭和40年代から50年代がすごく多かったのですが、朝霞の場合は各学校で違いが出てくるために、今まで子ども会の組織があったのが、「この学校はこう」というふうに分かれていたのが、非常に大きな問題だったり、組織が育っていかなくなってしまったり、子ども会が縮小していったのは、そういう原因があるのではないかなと言う方もいるのですが。そういうことで、これからもっと良い方向に行くように。また、学校の先生だけをお願いするというのではなく、やはり地域住民とか父兄の皆さん方に頑張っていたかかないといけないのではと思いますけれども。

○議 事 (3) 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和5(2023)年度事務評価(案)について

(金子議長)

続きまして、議事の(3)、第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和5(2023)年度事業評価(案)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局 高橋補佐)

それでは、資料4「第三次朝霞市生涯学習計画 実施計画 [令和5(2023)年度事業評価] (案)」及び資料5「第3次朝霞市生涯学習計画 実施計画 令和5年度事業評価 総括 (案)」について御説明いたします。

資料4は、令和5年度に実施された生涯学習計画における各課の事業及び評価を掲載した資料となります。こちらの資料には、実施された全事業数120の事業に関して、各事業の目的、実施された事業の内容とその評価、指標の達成状況、今後の展開などが詳しく掲載されています。

評価につきましては、A「目標・計画を大幅に上回る成果があがっている」からEの「目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった」の5段階で判定しています。

また、令和2年度の第1回会議におきまして、委員の皆様より「コロナ禍で事業の実施が困難な状況の中、従来通りの考え方でAからEの評価判定をすることは難しいのではないか」との御意見をいただいたことを踏まえ、「指標の目標計画に対するA～Eの判定」に加えて、「達成度(事業の目標は達成したか)」の欄に「指標の実績による判定」だけで

なく、「事業そのものの目標」に対して達成することができたか、改善点はあったか等を記述していただく欄を設け、指標だけでなく、取り組んだ内容についても、評価の一部とさせていただきます。

続きまして、資料4をもとに作成しました資料5「第3次朝霞市生涯学習計画 実施計画 令和5年度事業評価 総括(案)」について御説明いたします。

資料5の1ページをお開きください。1ページから2ページは実施事業の評価方法が記載されています。

1ページには事業の評価は年度ごとに行われ、達成度はAからEの5段階評価で行われていること、原則的には指標の数値を基に評価を行うが、必要に応じて事業全体から判断することが説明されています。

2ページを御覧ください。総括評価の方法について記載されています。事業ごとの達成度はAからEで評価されており、それぞれ1点から5点までの評価点数があること、また、主な取組の評価は事業ごとの達成度の平均点となり、小柱の評価は、さらに主な取組の評価の平均点としています。

3ページ目ですが、評価シートにつきましては、主な取組の評価と小柱評価が表記されており、別添の「補足資料(資料5関連)」において、全ての事業とその評価及び点数を掲載し、主な取組の評価や小柱評価につながる評価の課程の詳細を御確認いただけます。

それでは、総括評価につきまして、令和5年度の特徴を御説明いたします。

令和5年度の生涯学習計画実施事業数は120事業でございます。

評価につきましては、新型コロナウイルスが5類となり、指標としている事業の実施ができるようになった課が多く、C評価が増えました。全120事業中、D評価が20事業、E評価が1事業で、D・E評価の合計は21事業、事業全体の約17.5パーセントが「目標・計画を下回った」という結果となりました。

続きまして、大柱ごとの評価について御説明いたします。

資料の3ページをお開きください。

大柱1「新たな学びの“きっかけ”を提供します！」の評価について。

こちらには「生涯学習情報の充実」「相談体制の充実」「生涯学習のきっかけづくり」の三つの小柱がありますが、評価は「生涯学習情報の充実」が「B 目標・計画を十分上回る成果が上がっている」残る二つについては「C 目標・計画通りに成果があがっている」でした。各課とも、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、新たな学びのきっかけづくりとなるイベント等が制限を設けず、開催できたことが評価につながったものです。

続いて大柱2「使いやすい学びの“場”を提供します！」の評価については、「生涯学習拠点の充実」「学びの場を広げる」の二つの小柱がありますが、すべて評価は「C 目標・計画通りに成果があがっている」でした。

小柱「生涯学習推進拠点の充実」の主なものとしたしましては、令和5年度は総合福祉センター(はあとぴあ)で改修工事が行われ、利用しやすい環境の整備が行われました。

続いて4ページ、大柱3「多様な学びの“メニュー”を提供します！」の評価については、「ともに生きる社会づくりに向けた学び」「健やかで心豊かな人生のための学び」「ライフステージに応じた学び」の三つの小柱がありますが、御覧いただきます通り、全ての評価は「C 目標・計画通りに成果があがっている」となっています。

主な取り組みの「1) 共生社会に向けた教育の支援」につきましては、B評価となっています。これは、資料4を見ていただきますと、「共生社会の理念の普及」、「人権教育事業(学校教育)」の2事業についてA評価となったことの結果だと思われれます。

続いて5ページ、大柱4「市民の学びの“主体性”を支えます！」の評価については、

「学習活動の評価」「人材・団体の育成」の二つの小柱がありますが、すべて評価は「C 目標・計画通りに成果があがっている」でした。

主な取り組みの「1) 指導者の育成」につきましては、D評価となっています。こちらは「生涯学習ボランティア事業」と「家庭教育推進事業」の2事業の評価がDとなったことによるもので、ボランティアバンク登録者等の減少、開催講座数の減少等により目標値を達成できなかったことが評価の理由です。参加者も登録者もコロナ禍の令和2年、3年よりは増えてきていますので、引き続き市民や団体の活動経費の一部を市が補助する、市民の企画する講座をPRするなど支援を行い、市民の創意による生涯学習活動の推進に努めてまいります。

最後に、大柱5「市民とともに学びを“協働”で推進します！」の評価については、こちらの小柱は「生涯学習推進体制の充実」の一つですが、評価は「C 目標・計画通りに成果があがっている」となっています。こちらは本社会教育委員会議をはじめ、各審議会・協議会においていただいた委員の皆様が多様な御意見を今後の事業に反映させることで、事業の充実を図ってまいりたいと思っておりますし、皆様のおかげで得ることができたその評価であると考えております。

以上です。

(金子議長)

ただいまの説明について何か御質問はございませんか。

(齋藤委員)

最後の、生涯学習推進体制のところでも今説明があった中で、社会教育委員会議ということで、我々が所属しているこの会議ですけれども、前にも話したことがありますが、非常に全ての担当を網羅している、非常に中核的な重要な役割を担っている会議なのではないかなというふうに思っております。

今日も説明がそれぞれの部署の管理職の方において願うくらい、やはり全体を把握している会議だろうと思うのですが、この評価がBということで、参加していて非常に嬉しいというかね、この評価を受けているということ自体は、そういうことなのだろうなというふうに思いました。

恐らく、昨年度やってみてですね、市の担当職員の方から市の社会教育行政的なものに対するいろいろな説明だとか、南部管内の方たちとの連絡というか、そういうようなことも全部工夫されていたような気がします。そういう意味では私も非常に勉強になりましたし、そういう意味から委員の方々からの意見も随分反映されていたのではないかなと思います。

今後とも是非そういう形で御足願うと、より成果的には良いのではないかと思います。以上です。

(金子議長)

私が思うに、社会教育委員会議は、今までわりと和やかに、わりと自由にいろいろと意見を言っていたって来たこともありますよね。やはり「これを言ってはいけないかな」、「これは言ったらどうかな」と思いながらの発言よりは、社会教育が幅広いので、会議そのものもわりと、議長をやりながら非常に楽しくさせていただいているということで。

学校の先生の方から何かございませんか。

(原委員)

私も3年前に本校に着任したときにですね、朝霞市の文化財やら体育施設、図書館の充実等に本当に目を見張りました。ほかの市でここまで恵まれているところはそうないと思います。本校も歩いて7、8分のところに陸上競技場がありますので、体育祭のとき

に活用させていただいて、本当に保護者の方にも御好評いただいているところですが、それでこれだけの事業を展開していて、しかも皆さん厳しめに付けていらっしゃる。これだけの状況があればもうBでもいいじゃないかなと思ったりもするようなところにC。思った通りのというところで付けていらしたのだと思うんですけども、本当に持ってらっしゃるなどは常々思っています。

もう一つは、コロナ禍で動画もしくは二方向間のというような、いわゆる媒体があったものが、コロナがなくなって、全部それはいらなくなったということではなくて、では例えばある事業をやったときに動画配信を一緒にやってみると、参加者が増えるのではないかなと。

例えば私たちの会議が今そうなのですが。なるべくズームとか使ってやってくださいと。顔を合わせてやるのは年に1回までですよ、と県から言われたりもします。ただ、これをうまく使うと、例えばイベントなんかも、それだったら参加しやすいなという人も中にはいるかもしれない。だから是非そんなのもコロナが終わったからやめてしまうのではなくて、活用してみると参加人数なんかもまた増えていくのではないかなと、ちょっと今日聴いていて感じました。感想になってしまいましたが。

(金子議長)

非常に設備は他市から比べてよろしいのではと私も思っているのですが。他市のことはあまり詳しく分かりませんが、本当にスポーツ設備など、非常に良くできていると私も思いますので。また、スポーツの方もかなり盛んですからね、いろいろ。

ほかに何かありませんか。

予算についてはよろしいですか。

前もって、資料を準備して送ってそれを全部見ておいていただいたので、質問というのも御自分で理解される方が多かったのではないかと思っておりますのでね。

私が「社会教育」の4月号に、私には初めての言葉だったのですが、「ウェルビーイング」という言葉が出てきたんです。何だこれはという。私は横文字が分かりませんので。それでこれを調べてみたら定義、「ウェルビーイング」とはという説明が出ていて、ああ、そういうことかと。朝霞の小学校でこれを取り入れているという話をちょっと聴いたことがあるのですが。

読み上げます、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。」ということで、言葉は難しいのですが、やはりいろいろな環境が整っている中で社会教育を進めていくといいのではないかと。学校教育もそうですが。そのように私は理解したのですが、4月号を読んでいただくと分かると思います。

#### ○議 事 (4) その他

(金子議長)

長時間にわたって、いろいろな御意見をいただきありがとうございました。

続きまして、(4) その他でございますが、事務局から何かありますか。

(事務局・斉藤主任)

本日は、委員の皆様からたくさんの御意見等いただきありがとうございました。

今年度の社会教育委員会議でございますが、本日を含めまして、3回の開催を予定しております。

次回、第2回目は10月から11月、第3回目は2月頃を予定しております。

開催通知につきましては、開催1カ月以上前までには御通知する予定でございます。

また、例年ですと年明けの2月くらいに、埼玉県南部教育区事務所が主催する「社会教育委員」の皆様向けの研修会が実施される予定でございます。通知がまいりましたら、御案内を差し上げますので、御参加いただければと思います。

以上でございます。

(金子議長)

それでは、本日の議題は全て終了いたしましたので、私はこれで議長の職をおろさせていただきます。

スムーズに議題が進んだことを有り難く感謝いたします。どうもありがとうございました。

○閉 会